



分析主導のライフサイクルマネジメント

データ主導の即応性 | ライフサイクルコストの有効性 | 後方支援の最適化

分析に基づくライフサイクル管理は、システムのライフサイクルのあらゆる局面で、データが主導し意思決定を支えています。これらは、後方支援の解決策のデザイン、システムの後方支援アセットの評価、または相違した支援解決策や技術システムとの比較において重要な能力となります。現在、SysteconとOpus Suiteソフトウェアは、5大陸20か国以上の多くの企業や政府当局の研究開発・生産・調達・運用の全分野で、情報に精通した決定と費用対効果に優れた解決策に貢献しています。



OPUS10

スペアパーツ及び後方支援を最適化

OPUS 10 は、軍隊の技術システムにおける整備コンセプト、スペアパーツ及び後方支援に対し、戦略的に費用対効果を最適化する最新鋭のソフトウェアです。またOPUS 10 は、代替システム、形態、支援解決策の比較に際し、価値ある意思決定システムを提供します。この先端的アルゴリズムは、複雑なシナリオであっても素早く信頼できる回答を提供します。



SIMLOX

運用と後方支援をシミュレーション

SIMLOX は、防衛装備品の運用目的を達成するため、軍隊システムとそれを支援する解決策をシミュレートし、その能力を確保するには最適なソフトウェアです。この包括モデルは、システム・運用・支援をデジタルツイン化し現実世界での表現を可能とし、素早い現実的シミュレーションによりパフォーマンスの可能性を見極め、どのように設計・後方支援の解決策を改善・向上させるか、といった極めて重要な見通しを得ることができます。



CATLOC

ライフサイクル全体を通じたコスト管理

CATLOC は、防衛装備品のライフサイクル全体及び特定の期間を問わず、技術システムのコストと収益を予測し、システムデザイン、運用及び後方支援において重要な決定をした結果の経済的影響を予測見積する、最適なソフトウェアです。コストは、集計レベルまたは下層レベルで分析され、時間・場所・装備品・任務別などで可視化されます。また、ライフサイクルコストやコストドライバー、財務リスクを分析するのに最適なソフトウェアです。



EVO

防衛装備品の動的シナリオを戦術的に最適化

Opus Evo は、スペアパーツと整備機器を戦術面及び運用面での最適化を提供するソフトウェアです。Opus Evoの進化的アルゴリズムとシミュレーションを活用することで、防衛装備品の動的局面及び時間的変動を含めた、より緻密なシステムモデル、支援と運用を提供できます。また、防衛装備品の展開運用キットの支援を最適化し、毎年の整備予算の使用を最適化するのにも好適です。



CONNECT

統合とデータの取り込み

Opus Suite Connectは、Opus Suiteモデルで創ったデータを移すため、データ取込み作業を単純化します。データ取込み作業に費やす時間は、Opus Suite Connectを使うことで80%低減し、Opus Suiteの中でのデータアップデート又は多様な製品構成の改訂による反復作動や分析を最適化しています。これらはシステム統合の標準インターフェースを支えています。



INSIGHTS

ビジネスインテリジェンスと見える化

Opus Suite Insightsは、有効なコミュニケーションと意思決定支援の理解のため、有効な見える化と掲示板を提供します。これらはライフサイクル管理のビジネスインテリジェンスツールとなり、Opus Suiteの分析結果は幅広い関係者と直接的に共有可能となります。

Systecon について

Systeconは50年以上に亘り、国防から再生可能エネルギー分野までを網羅した世界の多様な企業組織のライフサイクル管理において、情報に精通した優れた意思決定を可能とするソフトウェアと手法を開発してきました。また、技術システム群（航空機、輸送車両、風力タービン等）のコストやパフォーマンスに影響を与える要素を理解・分析し、また条件や目的に則った運用・システムデザイン・整備の解決策を最適化する、手法・ツール・経験を保有しています。現在Systeconは、分析的ライフサイクルマネジメントの第一人者であり、当社のツールと専門性は、世界の最も複雑な数種の技術事業から信頼を頂戴しております。